レディーミクストコンクリート配合計画書

No.

2026 年 4 月 1 日

殿

平井興産株式会社　能美営業所
広島県江田島市能美町高田2112
TEL：(0823)45-2196　FAX：(0823)45-2146
配合計画者名　平井　徹

工事名称	
所在地	
納入予定時期	
本配合の適用期間	9月1日～6月30日標準配合、7月1日～8月31日夏期配合 （修正標準配合）
コンクリートの打込み箇所	

配合の設計条件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	24	12	20	BB

指定事項（必須）	セメントの種類	呼び方欄に記載	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	
	骨材の種類	使用材料欄に記載	アルカリシリカ反応抑制対策の方法	BB	
指定事項（任意）	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量	－	kg/m³
	舗装コンクリートの強度試験方法	－	コンクリートの温度	－	℃
	水の種類	使用材料欄に記載	水セメント比及び／又は水結合材比の目標値の上限	－	%
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載			
	塩化物含有量	0.30 kg/m³以下	単位水量の目標値の上限	－	kg/m³
	呼び強度を保証する材齢	－ 日	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限	－	kg/m³
	空気量	－ %	流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量	－	cm

使用材料

セメント	生産者名	UBE三菱セメント株式会社		密度 g/cm³	3.04	Na_2Oeq %	－
混和材	製品名	－	種類	－	密度 g/cm³	－	Na_2Oeq %	－

骨材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 区分	試験方法	粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm³ 絶乾	表乾	微粒分量の範囲%
細骨材	①	砂	福岡県福岡市西区小呂島南西沖 海砂	A	化学法	5mm以下	2.40	2.50	2.58	－
	②	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	③	－	－	－	－	－	－	－	－	－
粗骨材	①	砕石	呉市広町蜘蛛取迫	A	化学法	20～5	6.60	－	2.65	0.5±0.5
	②	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	③	－	－	－	－	－	－	－	－	－

混和剤①	製品名	78S	種類	AE減水剤標準形I種	Na_2Oeq %	－
混和剤②		－		－		－
細骨材の塩化物量	① － %	水の種類	地下水	目標スラッジ固形分率	－	
回収骨材の使用方法	細骨材	－	粗骨材	－	スラッジ水の使用方法	－

配合表 kg/m³

セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②
313	－	172	764	－	－	1018	－	－	3.13	－

水セメント比	55.0 %	水結合材比	－ %	細骨材率	43.5 %

備考

修正標準配合として次に示す適用期間の間，混和剤の単位量のみ変更。
夏期 7月1日～8月31日 +1.4倍
骨材の質量配合割合，混和剤の使用量については，断りなしに変更する場合がある。

レディーミクストコンクリート配合計算書

配　合　の　設　計　条　件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普　通	24	12	20	BB

変動係数	V	当工場の実績により	9.0　%
割増係数	α	$\alpha = \dfrac{1.0}{1 - \dfrac{2.0 \times V}{100}} = 1.220$	$\alpha = 1.220$
配合強度	m	$m = \alpha \times SL = 1.220 \times 24 = 29.3$	29.3　N/mm²
水セメント比	W/C	$m = a + b \times C/W = -11.95 + 22.72 \times C/W$ $W/C = \dfrac{b}{m - a} = \dfrac{22.72}{29.3 + 11.95} \times 100 = 55.0$	 55.0　%
単位水量	W	当工場の実績により	172 kg/m³
単位セメント量	C	$C = \dfrac{W}{W/C} \times 100 = \dfrac{172}{55.0} \times 100 = 313$	313 kg/m³
	Cv	Cv = C ÷ 密度 = 313 ÷ 3.04 = 103	103 ℓ/m³
空気量	A	A = 設計容積 × 空気量(%) = 1000 × 4.5(%) = 45	45 ℓ/m³
骨材の絶対容積	Va	Va＝設計容積－(W＋Cv＋A)＝1000－(172＋103＋45)＝680	680 ℓ/m³
細骨材率	s/a	当工場の実績により	43.5　%
単位細骨材量	Sv	Sv＝ Va × s/a(%) = 680 × 43.5(%) = 296	296 ℓ/m³
	S	S = Sv × 密度(2.58) = 764	764 kg/m³
単位粗骨材量	Gv	Gv = Va － Sv = 680 － 296 = 384	384 ℓ/m³
	G	G = Gv × 密度(2.65) = 1018	1018 kg/m³
単位混和剤量	AE	AE＝C×添加率(%)＝313×1.00(%)＝3.13	3.13 kg/m³

配　合　表　kg/m³

セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②
313	－	172	764	－	－	1018	－	－	3.13	－

水セメント比	55.0　%	水結合材比	－　%	細骨材率	43.5　%

備考